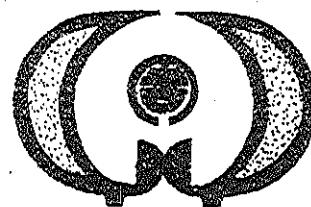


周陽コミュニティだより



周陽



周陽地区コミュニティ推進協議会広報部 電話 28-6515 周陽公民館

家庭から出るごみには、  
貴重な資源が  
含まれています。



資源の乏しいわが国は、原料資源の大部分を輸入し、経済の発展と国民生活の向上をはかってきました。しかし、石油危機を契機として、「資源にも限りがある」という認識がひろく浸透するようになりました。私たちは、これまでのように「資源を多量に消費する生活」から、「限りある資源を最大限有効に使う生活」へと、発想の転換をはかる必要に迫られています。いわゆる「資源有限時代」に入ったということなのです。現在わかっている各種の資料によると、地球に埋蔵されている資源のなかには、あと数十年ではほとんど消費されつくすといわれているものもあります。私たちは、できる限り、たいせつな資源の有効利用をはかることを考えなければなりません。それが、私たち「資源有限時代」に生きるもののです。第一のつとめです。

55年6月5日

自治会長殿

周陽地区コミュニティ  
推進協議会  
会長 野村悟一郎

資源ゴミ回収事業について  
(お願い)

初夏の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、先般周陽地区自治会連合会の定時総会においてお諮りいたしました標題の資源ゴミ回収事業をコミュニティ活動の一環として別記要領により実施することとなりました。

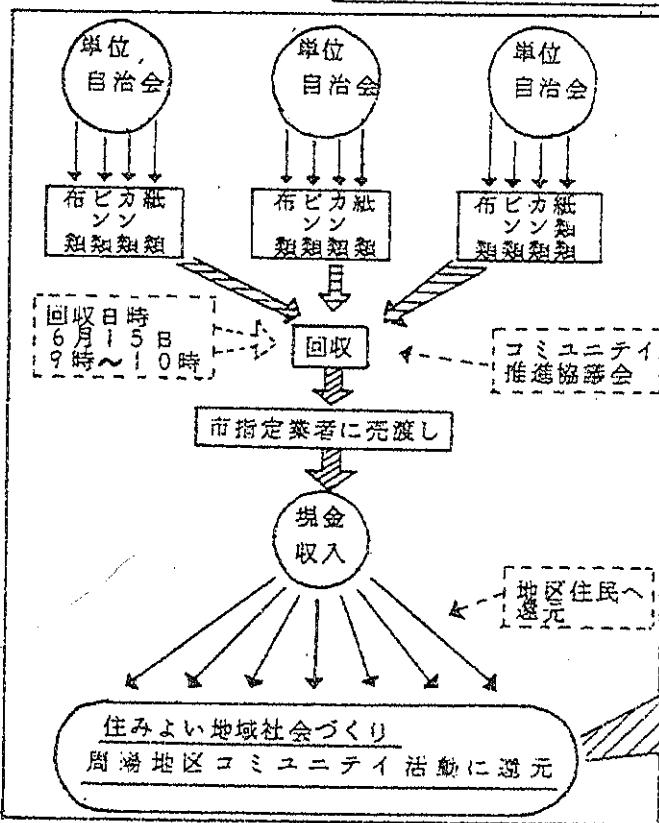
この資源ゴミの回収事業については市当局も積極的にとり組んでおりますので側面的協力は惜しまない、という姿勢を示しております。

しかしながら何といつてもその成否は周陽地区住民の皆様方の深いご理解とご協力を頂けるか否かにかかっていると思います。

どうか貴自治会におかれましてもこの趣旨をご理解下さいまして、ご協力たまわりますようお願い申し上げます。

## オ! 回周陽地区一齊資源ゴミ回収!!

6月15日(オ 3日曜)に実施!!



## 夏まつり開催

7月27日

